

調達管理番号・案件名

26a00080.フィリピン国持続可能な森林管理と保全のための森林モニタリング能力強化プロジェクト

質問と回答は以下のとおりです。

2026年4月13日

質問番号	ページ	項目	質問内容	回答
1	9	2.(1) 実施体制	長期派遣専門家(業務調整/住民参加型森林管理)では、ローカルスタッフの雇用は想定されていますか？想定されていれば、その人材の分野と時期をご教示願います。また、その費用は在外強化費によるものとなりますか？	運転手兼事務員のスタッフ雇用を予定しています。時期は長期派遣専門家派遣後(開始1年経過後を想定)で、費用は長期派遣専門家が管理する在外強化費によるものを想定しています。
2	12	第4条 業務の内容	本条で用いられている用語「準リアルタイム」について、技術提案および見積の前提条件として、発注者の想定を確認させてください。「準リアルタイム」として想定されている ・更新頻度(例:日次、数日毎等) ・利用衛星、または想定される地上分解能(Sentinel-2、Landsat等) について、最低限の要件や参考イメージがありましたらご教示ください。また、上記の想定は、森林攪乱要因である森林減少(例:伐採)と森林火災とで、異なる前提を想定されているのでしょうか。	「準リアルタイム」は週に1回程度の更新頻度を想定しています。また衛星データについては、Sentinel-2やFIRMSなどの衛星データを適切に組み合わせたいதாக想定しており、この点に関しても提案などあればお願ひしたいと考えています。 森林攪乱の要因によって、使用に適した衛星データ等が異なる場合も想定されるため、組み合わせも含めてご提案いただきたいと考えています。
3	13	③ 成果3に関わる活動	活動3-1にて言及されるモジュールとはどのような形式および内容の成果物を想定されていますでしょうか？	準リアルタイム森林攪乱アラートシステムやそのシステムの改良版Lawinへの連携における各機能のプログラムコードを想定しています。
4	13	先方政府によるLawinシステムの改良状況	現時点で、FMBは相手国側予算でLawinシステムの改善作業に着手しているかどうか、ワークプランに大きく影響するので、念のために確認させてください。	まだ着手していません。環境天然資源省は、当該作業のために10百万PHPの国家予算の申請をしていたようですが、減額され5百万PHPとなる見込みのようで、承認された場合の予算配付は2026年後半の見込みのようです。
5	18	第7条 機材調達	各種機材の要求仕様/スペックをご教示ください。 例えば、 ・PC: スマートフォン、タブレット、サーバ: OS、CPU、メモリ、HDD、保証期間、必要ソフトウェア(Office、GIS、画像解析ソフト) など ・プロジェクタ: 明るさ・解像度など。 ・モニター: 解像度・大きさ・壁掛け/スタンドなど。 ・コピー機: 印刷サイズ、カラー/モノクロ、インクジェット/複合機(レーザー)など なお、サーバについて、詳細計画策定調査では、AWS等民間クラウドサーバの活用を提案されていますが、今回は自前で導入・運用することになったと理解して良いのでしょうか。	実施に適切と考えられる要件/スペックと考えており、特段こちら側で指定はございません。 また、サーバに関しては詳細計画策定調査時にはクラウドサーバの使用を先方に提案していますが、物理サーバ使用の可能性も否定はできず、プロポーザル上では自前での導入の可能性も加味して見積もっていた上で、プロジェクト開始後にカウンターパートと協議の上最終決定いただきたいと考えています。
6	18	第7条 機材調達	スマートフォンやタブレットの調達において、フィールド等での通信費(SIM、データ通信料)については、プロジェクト負担(本契約)となるか先方負担となるか、その取扱いについてご教示願います。	原則、先方負担と考えております。プロジェクト期間中に先方負担が難しい事情があれば、随時ご相談対応を検討することとします。
7	18	第7条 機材調達	①機材引渡後の対応 機材引渡後の ・保守・修理 ・消耗品(トナー、バッテリー等) ・故障時の対応 は、本プロジェクト期間においては、受注者/C/Pのいずれの責任・負担となりますでしょうか。 ②ソフトウェアライセンスの扱い PC等に導入する商用ソフトウェア(Office、GISソフト等)がある場合、ライセンス調達・更新費用は本契約に含める必要がありますか。また、永続/サブスクリプションの指定はありますか。	プロジェクト期間中、先方に引渡前の機材(事業用物品)については受注者の責任・負担にて管理いただく想定です。 また、準リアルタイム森林攪乱アラートシステムにおいては、Google Earth Engineの使用が見込まれますが、こちらのサブスクリプション費用はフィリピン側で費用負担可能である旨確認済みです。Office等、PCの利用に不可欠であり、PC購入時に付属していない場合は本契約に含めてください。永続/サブスクリプションの指定はありません。その他GIS等については、業務内容上、目的達成のため恒常的に使用する必要があると考えられる有償ソフトウェアは、要すればご提案いただきたいと考えています。
8	19	第7条 機材調達	調達機材に含まれる「大型モニター」について、何インチ程度の大きさを想定されていますでしょうか？	特段想定はございません。適当なモニターをご提案ください。
9	19	機材調達「サーバ」について	改良Lawinシステムのデータベース用の物理サーバと理解しましたが、商用クラウドサーバ上での稼働も想定されます。本プロポーザルでは「物理サーバの機材費」として見積もりを計上しておき、最終的な要否は、後日カウンターパートと協議の上で決定する、という進め方でよろしいでしょうか？	見積に計上してください。物理サーバの要否に関しては、運用を考慮した上で後日カウンターパートと協議し、最終的に決定するという点で異存ございません。
10	33	(5) 対象国の便宜供与	RDには先方政府負担との記述があることは理解していますが、念のために、改善版Lawinシステムのパイロット活動に必要な地方のカウンターパートの旅費(日当、宿泊費、ガソリン代など)は積算しておく必要はあるのでしょうか？	現状ではカウンターパートの旅費をプロジェクト予算で負担することは想定していません。積算の必要はありません。

以上